

会議のテーマ「復興に向けた加速」の下、3本柱である①人、②技術、③ネクサスにおいて、ウクライナにおける今後の地雷対策のために重要な要素に関する共通認識及び今後の方向性を確認。

1 人（People）

- 官・民、中央・地方それぞれにおける地雷対策に関する質の高い専門家の育成・能力構築。
- 地雷対策に関し、女性、若者、退役軍人、障がい者を含む、社会の幅広い主体の参画の促進。
- 地雷回避教育、精神面を含む医療支援、経済再統合支援を含む、地雷により影響を受けたコミュニティ、被害者に対する包括的な支援の提供。
- ウクライナと地雷被害の経験のある国との間での連携促進を含む、グッドプラクティスの共有を通じた国際協力の促進。

2 技術（Technology）

- AI、無人機、遠隔操作可能な地雷除去機材等の革新的な地雷除去技術に関する研究・開発などのための投資促進。デジタル化の地雷対策への活用。
- 国際基準・各国基準の双方に沿った地雷対策の実施による安全性、迅速性、費用対効果向上。
- 地雷除去の資機材等の生産現地化のための取組促進。

3 ネクサス（Nexus）（地雷対策と復旧・復興の円滑な連結）

- ウクライナの基幹産業が農業であり、地雷対策が復興の出発点であるとの認識の下、地雷除去から復興・開発への早期かつ円滑な移行を促進。
- 爆発物等が原因となる環境リスクの評価及びリスク低減のための措置の実施。
- 地雷除去後の復興における民間セクターの関与と官民連携の促進。

4 その他

- 継続的な地雷対策の取組を支えるため、革新的資金調達メカニズムを含む多様な資金源を動員。
- 政府、国際機関、民間セクター、市民社会を含む全てのパートナーが、ウクライナの復旧・復興に向けた前進を加速化させることを確認。来年の会議をEUが主催することを歓迎。